

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式				
E142F008		世界史特講 (Special Lecture of World History)										
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
選択	2	3	教育学部			氏名 青柳 かおり E-mail kaori5@oita-u.ac.jp 内線 7524						
授業の概要	古代から現代までの西洋史の講義を行う。西洋史の大筋をたどるとともに、世界史の展開に大きな役割を果たしたイギリスを中心に講義する。イギリスとヨーロッパ大陸、アメリカとの関係に注意しながら、西洋史上の重要な出来事を映像を用いて講義し、西洋史の一般的な流れを学んでいく。世界史についての専門的知識を活用し、さまざまな情報を適切に判断して問題解決に取り組む能力の充実を図る。世界史の専門的知識を活用し、資質の高い社会科教員の養成を目指す。											
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)											
目標1	多様な文化に関する幅広い教養を身につけ、西洋史に関する深い知識を修得している。											
目標2	専門的な知識を活用し、国際化社会の変化や要請に、柔軟かつ的確に対応できるようになる。											
目標3	異文化理解を深める。											
目標4	西洋史に関する知識を世界史の授業開発に用いることが出来る。											
目標5												
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
授業の内容												
1	ガイダンス											
2	ローマ帝国と古代のイギリス											
3	中世前期のイギリスとヨーロッパ											
4	百年戦争とジャンヌ・ダルク											
5	イングランド宗教改革											
6	大航海時代											
7	ピューリタン革命と王政復古											
8	名誉革命体制とヨーロッパ											
9	18世紀における戦争と貿易											
10	イギリスの産業革命											
11	フランス革命と対仏大同盟											
12	19世紀の階級とジェントルマン											
13	帝国主義											
14	二つの世界大戦と日本											
15	現代におけるイギリスとEU											
ラーニング	A:知識の定着・確認	コメントペーパー、小テスト				工夫 その 他の	Moodle を活用する。 教員が一方的に話すだけにならないように、学生に意見を述べてもらおう場面を頻繁に設ける。					
	B:意見の表現・交換											
	C:応用志向											
	D:知識の活用・創造											
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	関連する参考文献を用いて予習する。(20h)										
	事後学修	毎回の宿題を行う。(20h)小テストを用いて復習する。(5h)										
教科書	教科書は指定しない。資料を配布する。											
参考書	『中学校学習指導要領 社会』、『高等学校学習指導要領 地理歴史』、『中学校学習指導要領解説 社会編』、『高等学校学習指導要領解説 地理歴史編』 川北稔編『イギリス史』(世界各国史11)山川出版社、1998年。 青柳かおり『イングランド国教会』彩流社、2008年。											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	小テスト	80%										
	最終レポート	20%										
最終レポートの提出を単位取得の条件とする。												
注意事項												
備考	H31年度以前入学生については、3年次前期開講予定です。											
リンク												
	URL											